

## 「自分に必要な学習に、自分で取り組む」～学習習慣の定着を目指して～

|  |              |                       |
|--|--------------|-----------------------|
| 草津市  | 活動名：放課後子ども教室 | 笠縫小学校 学校運営協議会：■有 □無   |
| 主な活動場所：笠縫小学校   |              | 開始年度：平成30年度           |
| 年間開催日数：30日（開催ペース：月5日程度）  |              | 地域学校協働活動推進員数：2人（兼務2人） |
| 平均参加人数：15人   |              | 平均スタッフ数：2人            |
| ・活動内容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）<br>・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ）<br>・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他 |              |                       |

### ■ 活動の概要

放課後の時間を活用し、児童が特参した宿題や課題等へ自ら取り組むことで、自主学習の方法や日々の学習習慣の定着を図る。

### ■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

支援員は、児童の見守りを基本とし、必要に応じて学習がスムーズに進むように声かけを行うなど、児童が安心して学習できる環境づくりに配慮している。

### ■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

放課後子ども教室の終了後、児童育成クラブに通所する児童については、児童育成クラブの支援員が送迎にくるなど、安全確保に配慮した連携を行っている。

### ■ 他事業との関わり

草津市教育委員会事務局児童生徒支援課の実施事業である「放課後自習広場」として平成28年度より事業実績を積み重ね、平成30年度に「放課後子ども教室」として開設した。

### ■ 事業の成果と課題

活動を支援する地域コーディネーターや児童育成クラブの支援員等が関わることで、安心できる環境のもと学習習慣の定着と放課後の子どもの居場所づくりに寄与している。

課題としては、参加または不参加について連絡がとれない家庭への対応が難しい。



【 学習風景 】

報告書記入者（ 放課後子ども教室担当職員 ）

## 「自分に必要な学習に、自分で取り組む」～学習習慣の定着を目指して～

|  |              |                       |
|--|--------------|-----------------------|
| 草津市  | 活動名：放課後子ども教室 | 老上西小学校 学校運営協議会：■有 □無  |
| 主な活動場所：老上西小学校  |              | 開始年度：令和5年度            |
| 年間開催日数：20日（開催ペース：月3日程度）  |              | 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） |
| 平均参加人数：45人   |              | 平均スタッフ数：4人            |
| ・活動内容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）<br>・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ）<br>・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他 |              |                       |

### ■ 活動の概要

放課後の時間を活用し、児童が特参した宿題や課題等へ自ら取り組むことで、自主学習の方法や日々の学習習慣の定着を図る。

### ■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

支援員は、児童の見守りを基本とし、必要に応じて学習がスムーズに進むように声かけを行うなど、児童が安心して学習できる環境づくりに配慮している。

### ■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

支援員の中には、学校教育活動をサポートする者がおり、児童が安心してできる関係性の中で支援を行っている。

### ■ 他事業との関わり

草津市教育委員会事務局児童生徒支援課の実施事業である「放課後自習広場」として平成28年度より事業実績を積み重ね、令和5年度に「放課後子ども教室」として開設した。

### ■ 事業の成果と課題

活動を支援する地域コーディネーターや児童育成クラブの支援員等が関わることで、安心できる環境のもと学習習慣の定着と放課後の子どもの居場所づくりに寄与している。

課題としては、参加または不参加について連絡がとれない家庭への対応が難しい。



【 学習風景 】

報告書記入者（ 放課後子ども教室担当職員 ）